

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 鳥井学園 第二明泉寺幼稚園

1. 本園の教育目標

心身共に健康で人間性豊かな幼児の育成を目指す。

- ・明るく元気な子ども
- ・素直で思いやりのある子ども
- ・よく考えて正しく行動できる子ども
- ・最後までがんばりぬく子ども

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

幼小接続の観点から「あいさつ・聞く力・集中する力」の3項目を重点目標として学級経営に取り入れ、1年間実践を続ける。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	評価の理由や取り組み内容
「幼小継続指導3項目」への具体的な取組	B	朝の会や絵本の読み聞かせの時間を活用し、話を聞く姿勢や相手の話に耳を傾ける大切さを伝えたり、「最後まで聞く」「相槌を打つ」などのルールを設け、グループ活動を通して実践したりした結果、多くの子どもが相手の話をしっかり聞き、理解しようとする態度が生まれた。
教師としての資質や保育の質の向上	A	教育目標や幼児の実態から学級目標を立て、学級経営案に沿って目標達成に向けての具体的な実践に取り組み、お互いに情報交換をしてきめ細かな指導に努めることができた。
日常の保育や行事への取組	B	日常の保育や行事への取組の中で、異年齢の関わりを重視した実践を重ねることにより、リーダーシップが生まれたり、関わり方のモデルになったりして、責任感や意欲の向上が見られ、子どもたちの成長が豊かになった。

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	保育の質の向上を目指し全教職員が共通理解し、1つ1つの課題解決に向けて取り組み、子どもの成長を保護者に伝えた。その結果、保護者の「教育活動に関するアンケート」からも総合的に肯定的な評価を得ることができた。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保育内容の改善	さらなる多様な体験活動を重視した教育活動の推進に努める。 ・教育環境の構成と保育者の援助の仕方の工夫
環境構成の工夫	子どもに働きかける教育環境の工夫。
業務改善と教師の資質向上	デジタルツールを活用し、業務改善に努め時間を確保するとともに、園内での職員研修を計画的・継続的に行い（園外研修の報告会など）、更なる保育の質の向上に努める。

6. 学校関係者評価委員会の評価

日々の保育の中で「あいさつ、聞く力、集中する力」の重点目標がしっかり子ども達に行き届いていると思いました。また、保護者からもほぼ肯定的な評価を得ている点については園の取り組みができています。今後の取り組む課題については、今日の保育環境を考慮しながら積極的に意見を出しながら取り組んでいただきたい。無事に令和6年度を終えることができ感謝しております。お疲れ様でした。

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

委員会実施日 令和7年3月15日